

● 診療科の特色

1. 当院の救急体制は「各科相乗り型」と「ER型」の両面を持ち合わせている。すなわち Walk-in および救急搬送されてくる患者のうち、成人患者に対しては救急科専従医(スタッフ、研修医)が初期対応を行い、各科医師と相談しながら初期診療を行い、入院加療は各診療科に依頼している。なお、小児救急患者には小児科救急担当医が対応している。
2. 上記の通り成人患者には、平日日勤帯の成人患者には主に救急専従医(内科系)、内科系および外科系救急当番、初期研修医が状況に応じて対応している。小児救急患者には、小児科の救急担当医が対応している。夜間・休日は主に内科系、外科系、および小児科の日・当直医がその役を担っている。
3. 救急専従医は1名のみであるが、総合診療科、脳神経内科、外科、小児科のサポートドクターとともに救急外来における診療と研修医教育を行っている。
4. 研修医に対しては内科系医師の協力の下、診療終了後に当日の診療内容に対する振り返りを行い、診療能力の向上を図っている。

● 診療実績

1. 救急患者受入実績

救急外来受診患者数	20,115名
救急車搬入台数	3,906台
救急入院患者数	4,746名

2. 主要疾患群患者数 (院外心肺停止は救急外来での死亡確認を含む。他院で診断され、転院搬送された症例を含む。)

	疾患	患者数
1	COVID-19	1,086
2	インフルエンザ	844
3	外傷・骨折(頭部外傷含む)	788
4	肺炎(誤嚥性肺炎を除く)	607
5	気管支喘息	275
6	腎盂腎炎・尿路感染症	219
7	急性脳卒中	211
8	心不全	176
9	消化管出血	129
10	誤嚥性肺炎	113

その他 院外心停止 27件、急性冠症候群 50件、不整脈 89件、大動脈疾患(急性大動脈解離、大動脈瘤破裂など) 11件、静脈血栓塞栓症(肺塞栓症、深部静脈血栓症) 21件、呼吸不全 104件、気胸・血胸 44件、腎不全(急性腎不全、急性腎障害、慢性腎不全急性増悪) 58件、消化管穿孔 3件、虫垂炎 106件、イレウス 106件、腹膜炎 39件、胆道疾患(総胆管結石、胆管炎、閉塞性黄疸など)

98 件、胆のう炎 52 件、急性膵炎 31 件、髄膜炎・脳炎 21 件、てんかん発作 80 件、敗血症 40 件、
尿路結石 84 件、アナフィラキシー・重症アレルギー 83 件、蜂巣炎・丹毒・壊死性筋膜炎 76 件 蜂刺
症 76 件、まだに症 30 件、マムシ咬傷 17 件、ムカデ咬傷 20 件、外傷性頭蓋内出血 49 件など

3. その他

- 1) COVID-19 外来対応チームリーダーとして、病院全体の救急対応における指針作成・改定
- 2) 新規採用初期研修医に対する一次救命処置研修開催(15 名参加)
- 3) 放射線技師、薬剤師、臨床検査技師等への一次救命処置研修開催(7 回 113 名参加)
- 4) 内科専攻医に対する内科救急＋二次救命処置講習会(JMECC)開催 (2 回)
- 5) プライマリカンファレンスにおける研修医指導 (毎週金曜日 7 時 30 分～8 時)
- 6) 岡山市消防局 救急救命士就業前教育 受入 (1 名)
- 7) 初期研修医、看護師に対する二次救命処置講習会(ICLS)開催(7回 59 名受講)
- 8) ICLS 指導者養成ワークショップの開催(2 回)
- 9) NHO-JMECC 指導者講習会 インストラクターとしての参加(NHO-JMECC コアメンバー)
- 10) 院外の各種救命講習会へのインストラクターとしての参加(AHA-ACLS、AHA-BLS など)